

柱1-IV-ア 市民活動に役立つ情報の収集・提供

30年度目標の達成状況

目標	30年度実績	30年度目標の評価	元年度目標
①支援メニューを今後の活動に役立てられたと感じた利用者の割合 29年度 80% 30年度 92% 元年度 93%	94.9%	達成	元年度 95.0% (理由) 30年度実績が元年度目標を上回ったため、元年度目標を上方修正する。
②市民活動総合ポータルサイトに利用登録する団体が掲載情報を活用した割合 29年度 30% 30年度 45% 元年度 50%	40.3%	未達成	変更なし (理由) 30年度目標には到達していないが、元年度目標達成に向けて引き続き取り組んでいくため。

取組の実施状況

30年度の取組内容	30年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
①市民活動支援メニューの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広く市民に市民活動総合支援事業等をPRするため、わかりやすい印象の資料を作成する。 ・ 交流の場が一過性に終わらないよう、継続的な交流の場となるプラットフォームを構築する。 ・ より広域的に新たな連携協働の取組がうまれるよう、プラットフォームの場を活用し、担い手同士のつながりを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く市民に市民活動総合支援事業等をPRするため、わかりやすい印象の資料を作成し、他の団体主催のイベントにて説明、提供した。 ・ 交流の場が一過性に終わらないよう、継続的な交流の場となるプラットフォームとして、ウェブサイト上に「掲示板」を構築した。 ・ 「交流の場」、「市民活動フォーラム」や「掲示板」を活用した担い手同士のつながりづくりを行った。 ・ 各区や地域で開催されている交流会への参加や団体への取材を行い、発掘した人材に「交流の場」への参加や「掲示板」での意見交換への参加を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらなる認知度の向上に努める必要がある。 ・ 様々な活動主体が新たな協働を生み出せるような工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所職員等を対象とした、各種支援メニューの概要や活用のメリット等を説明する機会を設けることで、職員が市民に対して支援メニューをさらにPRできるようにする。(通年) ・ 地域での活動と企業・市民活動団体の活動との協働がより生み出されるよう、交流の場の開催場所を市内で分散させて実施する。(通年)
②「市民活動総合ポータルサイト」の活用促進による情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所、まちづくりセンター職員への理解を深めるとともに、より効果的に周知活動が行えるよう資料を作成する。 ・ 住所を入力すると居住地の地域活動協議会やその取組内容が表示される機能を追加する。 ・ 個人登録機能を追加するなど、活動へのモチベーションを高める機能を追加する。 ・ 大学生ボランティア募集情報や大学生ボランティアへの優遇措置等を一覧で表示できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所、まちづくりセンター職員への理解を深めるとともに、より効果的に周知活動が行えるよう資料を作成し、区役所職員向け研修にて説明、提供した。 ・ 住所を入力すると居住地の地域活動協議会やその取組内容が表示される機能を追加した。 ・ 個人登録機能を追加するなど、活動へのモチベーションを高める機能を追加した。 ・ 大学生ボランティア募集情報や大学生ボランティアへの優遇措置等を一覧で表示できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動総合ポータルサイトの有用性、登録のメリットについて、区役所職員、まちづくりセンター職員の理解をさらに深める必要がある。 ・ ポータルサイト利用者が、情報を容易に得られるよう、さらに利便性の向上に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動総合ポータルサイト登録者が関心のある分野の新着情報が通知される機能やイベント情報やボランティア募集情報などの情報をカレンダーから絞り込みができる機能を追加する。(8月) ・ 区役所職員等を対象とした市民活動総合ポータルサイトの新機能や活用のメリット等を含めたポータルサイトの有用性、登録のメリット等を説明する機会を設けることで、職員が市民に対してポータルサイトをPRできるようにする。(通年)

柱1-IV-イ 地域の実態に応じたきめ細かな支援

30 年度目標の達成状況

目標	30 年度実績	30 年度目標の評価	元年度目標 (設定・変更等)
<p>①まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合</p> <p>29 年度 75% 30 年度</p> <p>元年度</p>	<p>24 区中 11 区が目標値を上回った。</p> <p>上段：目標、下段：実績</p> <p>【30年度目標・実績】</p>	<p>未達成</p> <p>北区、福島区、此花区、中央区、大正区、天王寺区、西淀川区、東淀川区、阿倍野区、住吉区、東住吉区、平野区、西成区の 13 区が未達成</p>	<p>30 年度目標の全区達成には至らなかったが、8 区において元年度目標を上方修正する。</p> <p>枠線あり：目標修正区</p> <p>(理由) 都島区、西区、港区、浪速区、旭区、城東区、鶴見区、住之江区について、30 年度実績が元年度目標を上回ったため。</p>

目標	30年度実績	30年度目標の評価	元年度目標(設定・変更等)																																																		
<p>②各区において派遣型の地域公共人材が活用された件数</p> <p>29年度 各区1件 30年度 各区1件 元年度 各区1件</p>	<p>24区中23区が目標値以上となった。</p> <p>【30年度目標(各区1件)・実績】</p> <table border="1"> <caption>30年度目標(各区1件)・実績</caption> <thead> <tr> <th>区名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>都島区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>福島区</td><td>2件</td></tr> <tr><td>此花区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>中央区</td><td>3件</td></tr> <tr><td>西区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>港区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>大正区</td><td>2件</td></tr> <tr><td>天王寺区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>浪速区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>西淀川区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>淀川区</td><td>7件</td></tr> <tr><td>東淀川区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>東成区</td><td>2件</td></tr> <tr><td>生野区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>旭区</td><td>2件</td></tr> <tr><td>城東区</td><td>2件</td></tr> <tr><td>鶴見区</td><td>5件</td></tr> <tr><td>阿倍野区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>住之江区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>住吉区</td><td>2件</td></tr> <tr><td>東住吉区</td><td>0件</td></tr> <tr><td>平野区</td><td>1件</td></tr> <tr><td>西成区</td><td>1件</td></tr> </tbody> </table>	区名	件数	北区	1件	都島区	1件	福島区	2件	此花区	1件	中央区	3件	西区	1件	港区	1件	大正区	2件	天王寺区	1件	浪速区	1件	西淀川区	1件	淀川区	7件	東淀川区	1件	東成区	2件	生野区	1件	旭区	2件	城東区	2件	鶴見区	5件	阿倍野区	1件	住之江区	1件	住吉区	2件	東住吉区	0件	平野区	1件	西成区	1件	<p>未達成 (東住吉区が未達成)</p>	<p>変更なし</p> <p>(理由) 30年度目標の全区達成には至らなかったが、各区において元年度の目標達成に向けて引き続き取り組んでいくため。</p>
区名	件数																																																				
北区	1件																																																				
都島区	1件																																																				
福島区	2件																																																				
此花区	1件																																																				
中央区	3件																																																				
西区	1件																																																				
港区	1件																																																				
大正区	2件																																																				
天王寺区	1件																																																				
浪速区	1件																																																				
西淀川区	1件																																																				
淀川区	7件																																																				
東淀川区	1件																																																				
東成区	2件																																																				
生野区	1件																																																				
旭区	2件																																																				
城東区	2件																																																				
鶴見区	5件																																																				
阿倍野区	1件																																																				
住之江区	1件																																																				
住吉区	2件																																																				
東住吉区	0件																																																				
平野区	1件																																																				
西成区	1件																																																				

取組の実施状況

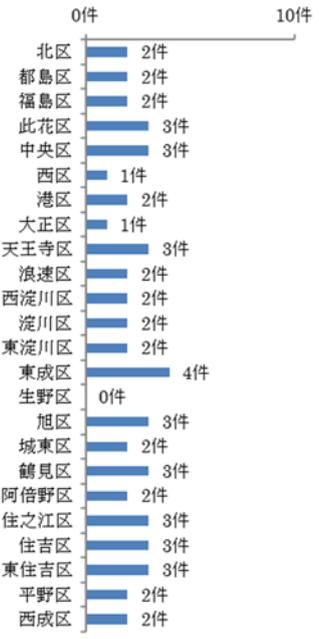
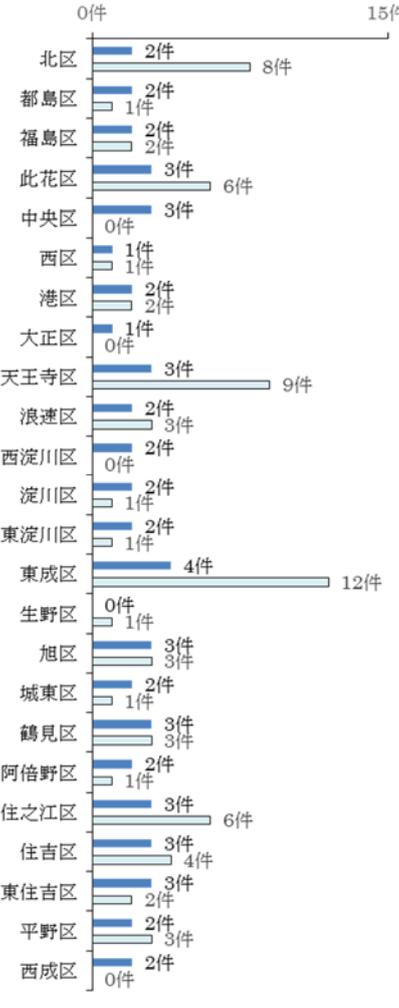
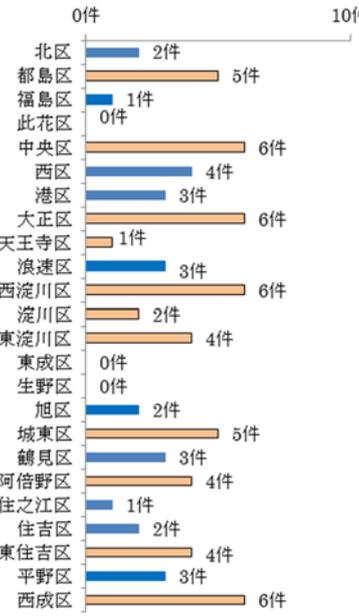
※各区状況については、[別冊]をご覧ください。

30年度の取組内容	30年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
<p>①まちづくりセンター等による支援についての評価基準の設定と支援内容の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区が取組の進捗状況・目標達成状況に応じて必要な対策を検討する際に活用できるよう、区長会議安全・環境・防災部会において、各区の取組内容を共有する。 新たな評価指標「自律度」について、あらためて共通認識を持つ必要がある。 各区の自律度の状況を可視化したうえで、あらためて自律度の趣旨 	<ul style="list-style-type: none"> 各区が取組の進捗状況・目標達成状況に応じて必要な対策を検討する際に活用できるよう、区長会議安全・環境・防災部会のもと、まちづくりセンター等の支援内容を収集し、共有用資料の確認を行った。(6～8月) また、事例共有会において共有した。(10月) より客観的に地域活動協議会の運営状況に係る「自律度」を示すことが可能となるよう、区長会議において、地域活動協議会の運営状況を客観的に判断するための取組例を設定した。(6～8月) 新たな評価指標「自律度」について、上記取組例と併せて会議の場で共有した。(9～10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域実情を見据えながら、地域活動協議会の自律的運営に向けた支援を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各区が取組の進捗状況・目標達成状況に応じて必要な対策を検討する際に活用できるよう、区長会議安全・環境・防災部会において、各区の取組内容を共有する。(通年) 引き続き、各地域活動協議会の自律的運営をめざし、地域の担い手へのアンケート、「地域カルテ」の活用等により各地域活動協議会の現状や課題を把握したうえで、地域の実情に即した支援を行う。(通年)

30年度の取組内容	30年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
<p>を説明する機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域活動協議会の自律的な運営をめざし、地域の担い手へのヒアリングやアンケート、「地域カルテ」の活用等により各地域活動協議会の現状や課題を把握したうえで、地域の実情に即した支援を行う。 「地域カルテ」を活用し、各地域のニーズや課題に適した支援内容の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各区の自律度の状況を可視化するためにデータを整理し、説明を行った。(9～10月) 各地域活動協議会の自律的な運営をめざし、地域の担い手へのヒアリングやアンケート、「地域カルテ」の活用等により各地域活動協議会の現状や課題を把握したうえで、会計面の支援のみならず、自主財源確保や担い手不足への対応など、地域の実情に即した支援を行った。 「地域カルテ」を活用し、各地域の実情に応じて、一部の地域で、支援内容を企画立案や運営方法のノウハウ伝達等にシフトした。 		<ul style="list-style-type: none"> 区長会議安全・環境・防災部会において、まちづくりセンター等による支援の効果検証と、今後の効果的な支援のあり方について検討する。(上期)
<p>②派遣型地域公共人材の活用方策の明確化、活用促進と活用事例の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣型地域公共人材の機能と活用事例を収集・整理し、活用方策とともにわかりやすく情報発信する。 区役所やまちづくりセンター等のホームページ、SNS (Facebook、Twitter など) などの多様な広報媒体やイベント等でのチラシ配布により、派遣型地域公共人材制度の周知を行う。 地域活動協議会の会議で、派遣型地域公共人材の説明を行い、活用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣型地域公共人材の活用事例について、内容、成果、利用団体の感想等を整理し、庁内ポータルに掲載し、各区に周知を行った。 区役所やまちづくりセンター等のホームページ、SNS (Facebook、Twitter など) などの多様な広報媒体やイベント等でのチラシ配布により、派遣型地域公共人材制度の周知を行った。 地域活動協議会の会議で、派遣型地域公共人材の説明を行い、活用を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体等のニーズに合った地域公共人材のマッチングが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、派遣型地域公共人材の活用事例を整理し、活用方策とともにわかりやすく情報発信する。(通年) 市民活動団体のニーズを十分に把握した上で、地域公共人材とのマッチングを行う。(通年) 引き続き、区役所やまちづくりセンター等のホームページ、SNS (Facebook、Twitter など) などの多様な広報媒体やイベント等でのチラシ配布により、派遣型地域公共人材制度の周知を行う。(通年) 引き続き、地域活動協議会の会議の場等で派遣型地域公共人材の説明を行い、活用を促す。(通年)

柱1-IV-ウ 市民活動の持続的な実施に向けたCB/SB化、社会的ビジネス化の支援

30年度目標の達成状況

目標	30年度実績	30年度目標の評価	元年度目標(設定・変更等)
<p>各区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数</p> <p>29年度～元年度の3年間で各区6件</p> <p>30年度</p>  <p>元年度</p> 	<p>23区中14区が目標値以上となった。</p> <p>上段：目標、下段：実績</p> <p>【30年度目標・実績】</p>  <p>生野区は29年度で3年間の目標(6件)を達成済。</p>	<p>未達成</p> <p>都島区、中央区、大正区、西淀川区、淀川区、東淀川区、城東区、阿倍野区、東住吉区、西成区の10区が未達成</p> <p>※生野区を除く23区が評価対象</p>	<p>12区において元年度目標を修正する。</p> <p>枠線あり：目標修正区</p>  <p>(理由)</p> <p>3年間で各区6件の目標となっており、都島区、此花区、中央区、大正区、天王寺区、西淀川区、淀川区、東淀川区、城東区、阿倍野区、東住吉区、西成区については、3年間の目標件数から過去2年の実績件数を差し引いた件数などに元年度の目標を修正する。</p>

取組の実施状況

※各区状況については、[別冊]をご覧ください。

30年度の取組内容	30年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
<p>①CB/SB化、社会的ビジネス化支援チームの結成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各区が取組の進捗状況・目標達成状況に応じて必要な対策を検討する際に活用できるよう、区長会議安全・環境・防災部会において、各区の取組内容を共有する。 各区でどのような事業が検討できるかを調査し、その事業に関する市内外の事例を情報収集するなど、関係局や実施区と連携して進める。 CB等に関する職員の理解を深めるために、職員を対象とする研修や説明会を実施する。 他区や他都市の成功事例等の情報共有を積極的に行い、CB/SB化、社会的ビジネス化の機運を高め、取組につながるよう支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各区が取組の進捗状況・目標達成状況に応じて必要な対策を検討する際に活用できるよう、区長会議安全・環境・防災部会のもと、29年度プラン振り返りシートを参考に、北区、此花区、港区、住之江区への取材を実施した。(6～7月)また、事例共有会において取材事例の他、参考となる取組を共有した。(10月) CB等の実施に係る税の取扱いについてFAQを作成し、CB職員研修で周知するとともに、庁内ポータルに掲載し、適宜更新を行った。(7月、1月) 各区で新たな事業を検討できるよう、公園での広告枠運用事業について、建設局と連携し、地域向け説明資料を作成し、市民協働課長会において説明及び資料提供を行った。(1月)港区では、実施に向けて検討を行うための説明会が実施された。(2月)また、29年度から進めているコミュニティ回収※については、コミュニティ回収支援チームにより、地域向け説明会を開催した。(通年) CB等に関する職員の理解を深めるために、職員を対象とする研修会(基礎編・応用編)を実施した。(7月、10月)また、コミュニティ回収の実施や公園清掃事業の社会的ビジネス化についてより深い知識を習得できるようケーススタディを実施した。(2月) 地域での取組事例について中間支援組織と共有し、他区事例などを各地域へ情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> CB等の意義や必要性の理解を促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各区が取組の進捗状況・目標達成状況に応じて必要な対策を検討する際に活用できるよう、区長会議安全・環境・防災部会において、各区の取組内容を共有する。(通年) CB等の実施に係る税の取扱いに係るFAQについて、随時更新を行う。(通年) 公園での広告枠運用事業について、建設局と連携し、各区に周知を行う。また、コミュニティ回収については、引き続き、コミュニティ回収支援チームにより、地域向け説明会を開催する。(通年) CB等に関する職員の理解を深めるために、職員を対象とする研修(基礎編、実践編)を実施する。(上期) 地域活動協議会の会議の場等で、CB等の事例を紹介するとともに、意義や必要性を説明する。(通年)

※ コミュニティ回収…本市で実施している古紙・衣類分別収集を、地域コミュニティが主体となって行うもの。